

9. 梅毒

妊婦の0.2%でTPHA陽性を認めるが治療を要する例はごく稀である。症状を有するものはエイズ合併が多いと考えられている。今や恐ろしい病気ではなくなったので「梅毒」という名前を返上して「トレポネーマ感染症」とでもするのが妥当と考える。

10. おわりに

紙面の都合でいくつかの感染症を省略させていただきました。最後に、若年者特に10代では混合感染が多く、淋菌感染の63%にクラミジア、クラミジア感染の10%に淋菌、尖圭コンジローマの40%にクラミジアも感染していることを追加させていただきます。日常診療の参考にしていただければ幸いです。

参考文献

- 1) 南邦弘ほか. 淋菌性子宮頸管炎の症状に関する検討. 日性感染症学会誌 14 : 117-120, 2003.
- 2) 守殿貞夫ほか. 淋菌感染症. 日性感染症学会誌 15 : 8-13, 2004.
- 3) 南邦弘ほか. 妊婦の夫クラミジア検査の有用性について. 日性感染症学会誌 13 : 93-95, 2002.
- 4) 南邦弘ほか. 性感染症としてのhuman papilloma virus (HPV) 感染症. 化学療法の領域 16 (12) : 32-37, 2000.

●お知らせ●

平成17年度生涯教育申告書提出期日の 変更について

◇学術部◇

平成17年度の申告書を提出いただく時期が迫ってまいりました。

当会では、例年同様日本医師会生涯教育講座等の受講データをもとに、日本医師会に「一括申告」いたしますが、一括申告に際しご通知申し上げる「平成17年度日本医師会生涯教育講座・北海道医師会認定生涯教育講座受講証」の送付期日が、作業スケジュールの関係から5月19日頃になる予定です。

従って、「自己申告」される予定の方の申告書の提出期日を、例年のとおり当会独自に下記のとおり変更いたします。

なお、申告に関しましては、5月に入りましてから改めてお知らせいたします。

記

変更前	変更後
4月28日（金）	→ 5月26日（金）